

臨床研究「子宮内膜胚受容能に影響を与える因子の解明」へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で、診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、以下の連絡先にお問い合わせください。同意されない場合でも、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

■ 研究の対象期間と対象となる患者様

2016年6月1日から2022年6月30日までに亀田総合病院・亀田IVFクリニック幕張 生殖医療科において子宮内膜胚受容能検査と慢性子宮内膜炎検査を受けられた方

■ 研究課題名

「子宮内膜胚受容能に影響を与える因子の解明」

■ 当院の研究責任者(所属)

研究機関名 研究実施施設名 医療法人鉄蕉会 亀田IVFクリニック幕張
責任研究者 亀田IVFクリニック幕張 生殖医療科 川井清考

■ 本研究の目的・方法・研究実施期間

子宮内膜胚受容能を検査・診断することにより、妊娠率の向上が期待できますが、子宮内膜胚受容能に影響を与えるリスク因子は明確にはなっていません。本研究では、不妊症女性を対象に子宮内膜胚受容能に影響を与える因子を評価することを目的として、電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用させていただきます。

研究実施期間：2023年4月3日から2028年3月31日まで

■ 研究に用いる試料・情報の項目

研究資料（初診時および外来経過観察時）にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、個人情報には削除しプライバシーの保護には細心の注意を払います。

女性年齢 男性年齢 超音波検査所見、女性ホルモン（E2、P4値）子宮鏡検査所見、子宮内膜病理所見、BMI、妊娠数、分娩数、不妊期間、不妊原因、内膜症性嚢胞/子宮腺筋症の有無、クラミジアIgG・IgA抗体、喫煙状況、職業状況、子宮付属器手術歴、子宮卵管造影所見、一般不妊治療・体外受精治療（治療回数・治療方法）生殖医療成績（妊娠予後）、抗生剤治療歴、子宮内膜胚受容能検査結果

■ 他の研究機関への提供・提供方法

他の研究機関への試料・情報の提供はありません。

■ 個人情報の取扱い

研究で利用する情報から、患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

■ お問い合わせ先

担当者（所属）：川井清考（亀田 IVF クリニック幕張 生殖医療科 院長）

電話：043-296-8141（代） FAX：043-296-8236